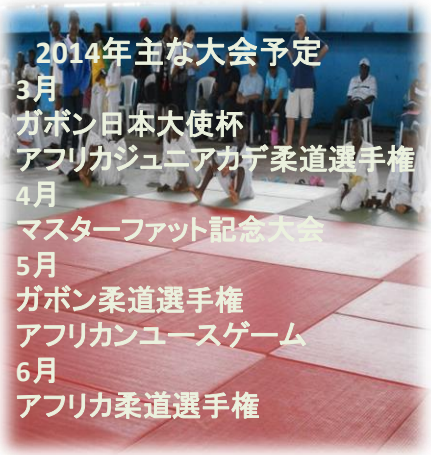

2014年主な大会予定
3月
ガボン日本大使杯
アフリカジュニアカデ柔道選手権
4月
マスターファット記念大会
5月
ガボン柔道選手権
アフリカンユースゲーム
6月
アフリカ柔道選手権

アフリカからBONJOUR!

#9

Bonjour, tout le monde.(皆さんこんにちわ)
青年海外協力隊の金盛です。
4月に入り日本では新シーズンが始まりましたね。さてガボンでは柔道の大会シーズンとなり最も多忙な時期に入りました。今回は大会の様子を中心に紹介していきます。

第24回ガボン日本大使杯

2014年3月15日

(上)　表彰式で選手たちと
(左)　－60kiloで優勝した生徒
(右)　試合風景

今年最初の大舞台

毎年３月に行なわれる在ガボン日本大使館とガボン柔道連盟が共催する文化交流を目的とした大会です。国内11クラブの全てが集まり１００人程の選手が出場しました。この大会はナショナル選手選考も兼ねている事から、選手達の意気込みも大きく熱戦が繰り広げられました。

近年の柔道のルール改正に伴い審判団も力を入れてきています。前日には講習も行い、試合当日はIPadを使用し映像判定も行なっていました。また選手の前日計量も取り入れており、こういった変更に関して海外では迅速に行なっているなという印象を受けました。

生徒達の活躍

ガボン人の決まり技で一番多いのは裏投げや払い腰といった技です。もちろん軽量級では背負い投げを好んで使いますが、相手の技を一気に持ち上げて返すといった展開が多いです。組み手も距離をとるよりも近い距離で引き付けて技を出す傾向があります。そんな中、私が活動している道場では寝技の指導に力を入れています。とにかく相手を倒したら寝技で攻めていけとアドバイスしています。今回はそういった練習の成果が表れた試合になりました。試合結果は優勝２名、２位が２名、３位も２名でクラブメダル獲得数も３位でトロフィーを獲得。勝つことだけが重要ではありませんが大会での勝利はやはり嬉しいものですね。

アフリカジュニアカデ柔道選手権大会

※ジュニア　15歳以上21歳未満　　カデ　15歳以上18歳未満

2014年3月20日

3

2

1

大会までの道のり

本大会はアフリカ大陸で最も権威のある試合です。選手は１年をこの大会に照準を合せてトレーニングを積んできています。練習は週６日となりガボン人コーチと共に選手を鍛えていきます。

代表選手は過去の大会実績で選考されますがガボンの柔道人口は６００人程で選出レベルはそれほど高くはありません。ですので代表メンバーの顔ぶれは大体同じです。

5

4

6

トレーニングは発想から

１ヶ月前から代表練習が始まります。

日本と違いトレーニング機材等はこちらでは不充分です。そこで彼らは身の回りの物を使ってトレーニングを行ないます。タイヤ、丸太、綱を使ったものから、坂道での地道な練習、サッカー、腕立て、腹筋などのサーキットトレーニング、今回はありませんでしたが海の中で柔道というのもありました。こういった自由な発想には最初驚きましたが、今ではこういうのもありなんだな、という考えを得る事ができました。（写真１～５）

7　大会出発前日に記念写真

継続すること

最終選考の末、今回出場した選手は４名のみでした。カデの選手が見事３位（写真６　右端）に入賞しましたが、やはり強豪の北アフリカ圏の牙城は崩せませんでした。ガボンでは通常週３回の練習のみです。。今回入賞した選手は普段から自己トレーニングを行い１人でも練習を積んでいました。こういった事の継続が結果に出るんだなと思いましたし、やはり選手の育成はとても時間のかかるものだなとも思いました。

さて、次は成年の部です。残りの任期も柔道とガボン生活を充実したものになるように励んでいきます。

それではまた、次の機会に！